

渡航前のメキシコのイメージと実際の印象

渡邊航大

2016年8月21日から埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画を通して、メキシコに留学しています。渡邊航大と申します。留学が始まってから約二ヶ月が経ちました。この研修計画の参加者はメキシコ国立自治大学のCEPE（外国人向けのスペイン語を学ぶ学部）で最初の学期は勉強することになっています。授業開始から約6週間がたち、来週から初めてのテストが始まります。やっところらでの生活に慣れてきましたが、勉強に追われて忙しい日々を送っています。

実際にメキシコで生活していると、日本にいた時の自分のメキシコに対するイメージが間違っていたことによく気づきます。到着してまだ間もないですが今日は、自分がメキシコで驚いたことについて書きたいと思います。

一つ目は、気候です。メキシコと聞くと、いつも暑いイメージがありました。しかしこちらに来てみると、朝と夜は想像以上に冷え込みます。標高の影響もあり、メキシコシティの夏は日本と比べると非常に過ごしやすく感じました。日本の友人からは、メキシコは暑いのではないかとよく聞かれましたが、体感では埼玉県の方が、熱く感じました。10月に入り、寒く感じる時が増えていきます。ちなみにメキシコというとマラカスを思い浮かべる人もいるかもしれませんが、実際のところメキシコシティではあまり人気ではありません。

二つ目は、音です。メキシコ人は、日本人より騒音に対して基本的には寛容です。夜中でも騒いだり、音楽を大音量で聞いたりしています。特に、週末は、いたるところでパーティーが開催され、気になることもあります。電車の中でも大声で話したりしています。映画の上映中に電話している人もいました。大学で授業を受けているときに、急に窓の外から音楽が聞こえたり、日本では考えられないことがよく起こります。最近やっ慣れてきた部分もありますが、やはり日本はすごく静かだったなとよく実感しています。

ちなみに実際に行ったこともない国に、一方的なイメージを持ってしまうのは、メキシコ人も同じようです。日本人はスプーン等を一切使わず、箸だけで食事をすると勘違いしていたメキシコ人もいました。

ここでの生活は、日本とは大きく異なりとても刺激的な毎日を送っています。

日本と同じものを見つける方が難しいので、戸惑うこともあります。違いを好意的に捉えて、残りの留学生生活を有意義に過ごしたいと思います。